

オーディオ実験室収載

東京春祭を楽しむ(42)

—ライブ配信(42)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2025No.51】で紹介した東京春祭 25 のプログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、塚越慎子のマリンバの演奏の配信を試聴しました。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は PC から Sonica DAC への送り出しですが、昨年から下記の変更がなされています。

Crystal Ep-G の導入

Crystal E Jtune に Crystal E 連結

さらに、ルーター→スイッチングハブ→PC の LAN 接続 2ヶ所にそれぞれ OPT ISO BOX を介在させ、2台の OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。なお、ことのついでに AC アダプターの DC ケーブルの Petit Susie Solid State 接続側と Petit Susie Solid State からの DC ケーブルの OPT ISO BOX 側に電磁波吸収テープ NRF-005T を巻いておきます。

プログラムは次のとおりです。

塚越慎子のマリンバ

日時・会場

2025 年 3 月 29 日 [土] 14:00 開演 (13:30 開場)

旧東京音楽学校奏楽堂

出演

マリンバ：塚越慎子

ピアノ：鞍智彩音

曲目

岡野貞一：朧月夜

安倍圭子：六本撥による五木の幻想

瀧 廉太郎：組歌《四季》

武満 徹（沼尻竜典編）：MI・YO・TA

武満 徹（山中惇史編）：小さな空

挾間美帆：マリンバのためのラプソディー

中山惇史：山田耕筰のうたによるタペストリー（世界初演）

細川俊夫：さくら

日本のうたメドレー

瀧 廉太郎（山田耕筰編）：荒城の月



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

マリンバの演奏は、演奏会で聴いたことがないので、本プログラムを選んでみました。

曲目はすべて日本の歌のメドレーです。マリンバは4本撥と思っていたが、6本撥の演奏もありました。

音量的には、ピアノにかなり引けをとるのかと思っていましたが、予想外に音量があり、また弱音からのダイナミックレンジも取れています。

日本の歌メドレーのうち3曲では、ジャズ風のアレンジもあって、撥のアタック感から共鳴管の余韻までリアルに捉えられていました。

このように予想外にマリンバは表現力の幅があることが分りました。





4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができ、マリンバの音の特徴がよく分かり、ステージ感が向上し、スピーカーアキュライザへの Crystal Ep-G の導入や PC の仮想アース Crystal E Jtune への Crystal E 連結および LAN 接続に OPT ISO BOX を介在させたことや OPT ISO BOX の電源に Petit Susie Solid State に適用したことなどの対策が功を奏していることが分りました。

以上